

[果樹部門 平成 31 年度 普及する技術]

事 項 名	りんご黒星病の重点防除時期は「ふじの展葉 1 週間後頃」から「ふじの落花 20 日後頃」		
ね ら い	黒星病の一次伝染源となる子のう胞子は、「ふじ」の開花直前から落花 20 日後頃まで多く飛散することから、これまでりんご病害虫防除暦における重点防除時期もこの時期としてきた。しかし、近年の調査で、飛散ピークが 4 月下旬にもあり、「ふじの展葉 1 週間後頃」も本病防除における重点防除時期であることが明らかになったので普及に移す。		
普 及 する 内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 「ふじの展葉 1 週間後頃」は黒星病の重点防除時期である。 2 基準薬剤を適期に基準量を丁寧に散布する。 		
期待される 効果	「ふじの展葉 1 週間後頃」の散布が適切になされ、初期防除が徹底される。		
普及上の 注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 自園の「ふじ」の展葉日を把握する。 2 「ふじの展葉 1 週間後頃」から「ふじの落花 20 日後頃」までの薬剤散布は、10 日間隔を守る。 3 散布予定日に降雨が予想される場合には、事前散布に徹する。 4 本資料は平成 30 年 12 月 7 日現在の農薬登録内容に基づいて作成した。 5 農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認して使用者の責任のもとに使用すること。 「農薬情報」 (http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/) 「農薬登録情報提供システム」 (http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm) また、短期暴露評価の導入により使用方法が変更された農薬は、登録内容の変更前であっても、変更後の使用方法で使用すること。 		
問い合わせ先 (電話番号)	りんご研究所 病虫部 (0172-52-2331)	対象地域 及び経営体	県下全域のりんご 作経営体
発表文献等	平成 28～30 年度 りんご研究所試験研究成績概要集 (りんご)		

【根拠となった主要な試験結果】

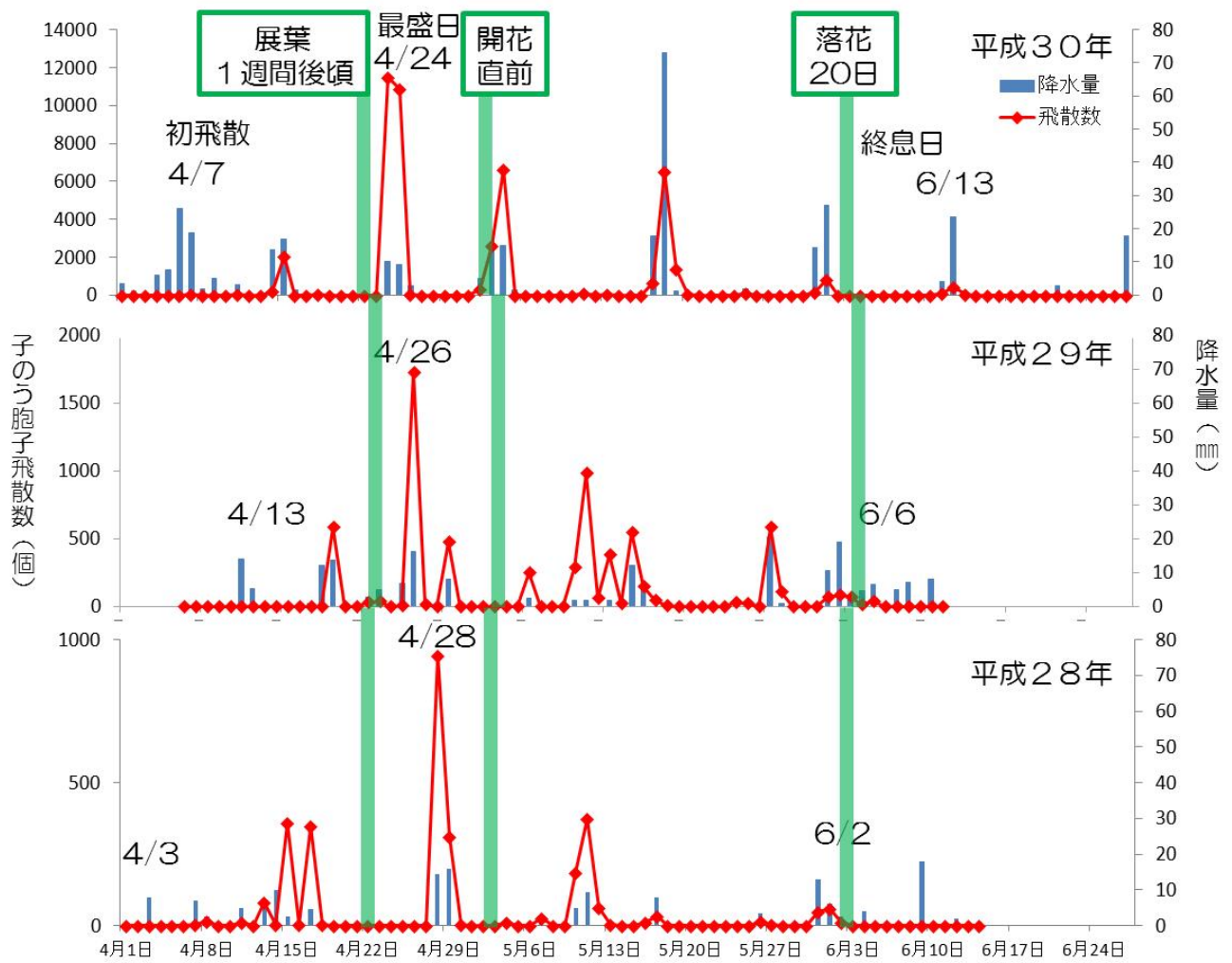


図1 リンゴ黒星病の子のう胞子飛散消長 (平成28～30年 青森りんご研)